



# 青少推だより

2024  
3月1日  
第58号

館林市青少年育成推進員連絡協議会 編集発行

## 館林市青少年育成運動推進大会

南部地区 竹森 太郎

季節外れの暖かさの中、11月4日(土)日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホールにて第36回館林市青少年育成運動推進大会が開催され、第一部では、他の模範となる青少年12名、青少年育成に貢献した指導者6名、団体1団体が表彰されました。第二部は、青少年健全育成四団体連携事業としてHSP未来ラボ群馬代表の石原千恵美先生をお招きし、「学校環境とHSCについて考える～敏感な子どもたちとの関わり方～」と題した講演をしていただきました。ハイリー・センシティブ・チャイルドの頭文字をとってHSC(人一倍、音・光・においなどの刺激に敏感な子ども)、そのような繊細な感性を持つ子どもは、世界の人口の15～20%、およそ5人に1人の割合でいて、高敏感・高感受性は持って生まれた気質で、障がいや疾病とは異なるそうです。実際に講師の子どもを例にして、関わり方などを分かりやすく解説していただき、先祖から受け継いだ気質なので無理に矯正をせずにHSCを理解することが大切と教えていただきました。この講演を今後青少推活動の参考にしていきたいと思います。



石原千恵美先生

## 東部圏青少年育成推進研修会

中部地区 高野 嘉津彦

9月2日(土)みどり市グンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)において開催されました『東部圏青少年育成推進研修会』に参加しました。研修会での講演は『「幸せになる勇気」～ヤングケアラーや問題を抱える子どもを勇気づける方法～』、講師は鈴木稔先生でした。鈴木先生は若い頃は少林寺拳法に打ち込み、アドラー心理学を学ばれたかたで、とてもエネルギッシュでユーモアを交えた語り口でした。これまでの講演を通して接してこられた中高生とのエピソードを交えて、幸せになるためには、子どもたちに自分の可能性を高めるためにアドバイスするとお話しくださり、青少年に関わる上でとても参考になりました。講演後の質疑応答では、複数の聴講者からの熱心な質問に丁寧に答えていらっしゃいました。遠隔地への参加ではありましたが、とても有益な時間でした。次年度は館林市で開催予定のため、青少年育成推進員、青少年育成関係者の皆さんのたくさんの参加を心よりお待ちしております。



## ケータイ・インターネット問題啓発講習会



～インターネットの光と影を知ろう～

北部地区 志村 幸治

11月9日(木)ぐんま子どもセーフネット活動委員会の小林千秋先生をお招きし、青少推と補導員会が合同でケータイ・インターネット問題啓発講習会を開催しました。ケータイやインターネットは、社会インフラの一環となり有効に使えばこんなに便利で楽しいツールはないと思います。これらは若年層への浸透や使用頻度が増えることはあっても減ることはないでしょう。そこで重要なのは、使い方や各家庭及び学校などでの使用ルール(子どもに持たせる際には、フィルタリングや時間の制限など)ではないでしょうか。青少推はもとより群馬県で推進している「おぜのかみさま」が重要です。「おぜのかみさま」とは、インターネットを安全・安心に使うための心構えをまとめた、群馬県で作成した7つのルールの標語です。SNSの普及に伴い大人だけでなく、子どもが心身に深い傷を負い、自ら命を絶つ重大ないじめが学校現場で起きていることも事実です。



小林千秋先生